

---

# 石岡市立八郷中学校 第1回 学校運営協議会 議事録（要約）

日時：令和7年6月10日(火)

会場：八郷中学校メディアセンター

出席者：地域有識者、PTA本部役員、教職員等

---

## 1. 生活リズムの変化と子どもの様子

- 部活動の終了時間が早くなり、生徒の生活にも変化が見られている。
  - 友達との交流が増え、暗くなる前には帰宅している様子も多い。
  - 塾に通う生徒も増えており、SNS でつながりながら学習している。
  - 自宅で SNS 等を活用して友人とやり取りをするケースも多く、地域が広いため外遊びよりも在宅の傾向が強い。
  - 生徒は「学校で頑張ってきた」という実感を持ちながら、時折友人の家を訪れることもある。
- 

## 2. 通学路の安全と対応

- 道路の安全確認に関する調査が行われ、「通学時に何人通るか」という観点から報告があった。
  - 万が一の事故時には「学校到着時に教員に報告」「必要に応じて保護者と病院にも連絡」などの指導がされている。
  - 林道、県道7号線バイパス、分岐点の左側などにおける危険性が指摘され、知らずに進むと事故につながる可能性もある。
  - 地域と連携し、危険箇所への対応を進めている。
-

### 3. テスト自動作成ツールの導入と授業への活用

- 授業に合わせて AI でテストを自動生成するツールを導入。
  - 作成された問題を元に、授業の流れや生徒の実態に合わせて差し替えを行う。
  - 難易度は従来教員が自作していたものと同程度（目安 60 点前後）を想定。
  - 教員の負担軽減が目的だが、学力向上に直結するかは生徒の意識や家庭での学習状況、教員の授業力など様々な要素が絡む。
  - 補充学習（復習）のためにも活用し、反復による定着を図る。
- 

### 4. テスト自動作成導入の背景と目的

- 全教科で教材購入を行うと費用がかさむため、自作で対応できる教科を増やす方針へ。
  - 年間 12 単元程度を想定し、AI によるテスト作成を教員の裁量で利用可能とする。
  - 教員の判断で自作・AI 併用が可能。生徒に適した問題作成を意識した運用を進める。
- 

### 5. 保護者・地域との連携と情報共有

- 授業改革やテスト自動化に関する方針や背景を保護者にも共有予定。
  - 本日の議事録は教頭がまとめ、学校ホームページの「コミュニティ・スクール」欄に掲載し、保護者にも一斉配信予定。
  - 草刈り等の校内整備においても、地域や保護者の協力を得て進められており、感謝の言葉が述べられた。
- 

### 6. 今後の方向性と支援体制

- 普段の授業と受験への備えを両立させる必要がある。
- 教員の思いや方針を尊重し、AI 活用も含めた授業デザインの柔軟性が必要。
- 負担のバランスをとりつつ、生徒にとって有意義な授業と学習の機会を提供していく。
- 保護者説明会等でしっかり背景と狙いを伝えていく姿勢が示された。

- 地域・保護者が学校をバックアップする体制づくりが重要であり、生徒にもその雰囲気や期待が伝わることが期待されている。